



在宅医療・介護多職種連携協議会 令和4年度第1回啓発・広報部会 ～報告～

目 的

在宅医療・介護に係る市民啓発について検討する。

- 市民啓発推進の検討
- 在宅医療情報紙わがやの発行
- その他，在宅医療に関する啓発関係の検討

内 容

第1回部会
6月7日（火）
オンライン会議

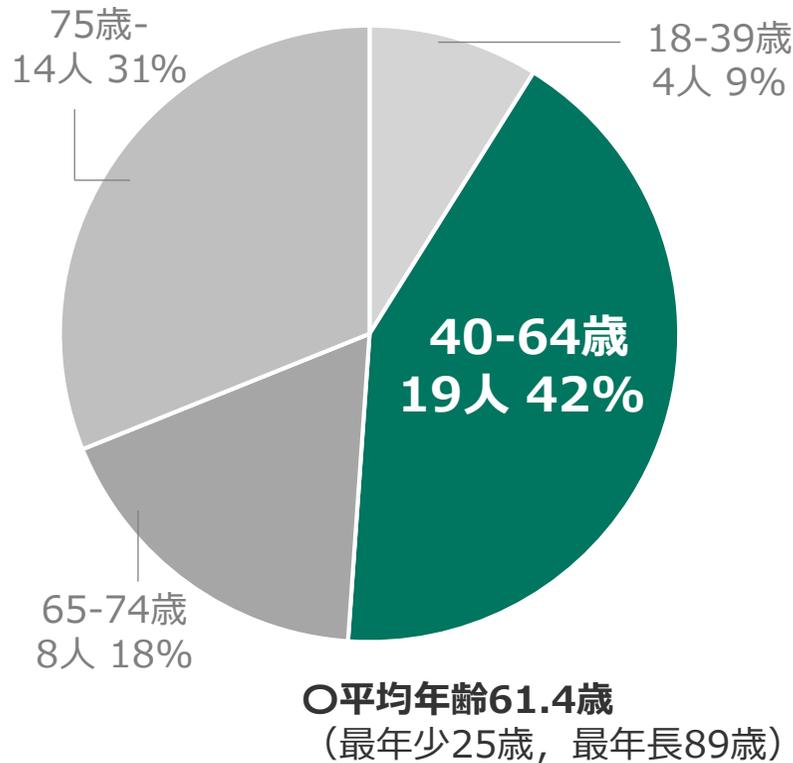
報告 前年度啓発広報部会活動報告
各チーム企画案の進捗状況
地域啓発活動報告
わがや19号アンケート結果報告
議事 「市民の知りたいこと」をベースにした情報発信に向けた準備

タイトル「家族の視点からひも解く、退院に向けたサポート」

一約18万部発行(全戸ポスティング, 小中学校等に配布)
 一市民からの反響

- ・クイズ応募件数: 45件(前回60件)
- ・40~64歳の方(ターゲット層)の反響はやや減少(23人⇨19人)
- ・一方, 75歳以上の方(当事者層)の反響が増加(9人⇨14人)

★感想: 「イラストが多く読みやすい」「わかりやすく書かれているので心強い」等の感想を多数いただきました。



《表面》

柏市在宅医療情報誌「わがや」Vol.19 (令和4年3月1日発行)

今から知っておこう! 家族の視点からひも解く、退院に向けたサポート!

とつぜん職が入替る事になった時、退院後を見据えてサポートするのは難しいことです。今回は、退院後の「これからどうしたらいいだろう」という不安を最小限にするために、親の支え方について紹介しています。

わがやストーリー

柏市内に住むK子さんは、夫と娘と息子の4人暮らし。子育てや仕事で忙しい日々を送っています。

ある日の夜、家族で過ごしているときに市内に住む母から、父のことでお電話がかかってきて...

お父さん、服薬で忘れて入院しちゃったのよ

お母さん、先週に何だか話を聞きにきたから聞いてみてください。大事も何もないけど、あんなに様子を見に行っちゃって...

えっ!! 大丈夫??

うん、わかったお母さん無理しないでね

退院後の生活を一人ひとりに相談していただく、ご希望があればお電話でも大丈夫です。

一つ、話があったんだけどお母さん、この先の生活のこと、いろいろ不安...

病状も落ち着き、リハビリも進捗しているの、そろそろ退院の準備をしましょう

退院後の生活を一人ひとりに相談していただく、ご希望があればお電話でも大丈夫です。

うん、そうだよね。今後のこと、私も一緒に考えよう。今度、家族で話しよう

相談できる ところってある?

一人で任せるわけにもいかないし...もし母まで頼られたら大変...

私にできる ことは...?

「ご家族の目」とお話をしても、何を伝えたいのか見極めづらかったり、お母さんが「お母さん、お母さん、お母さん」とお話を聞かされて、お母さんがお話を聞かされて、お母さんがお話を聞かされて...

ありがとうございます。心強いわ。じゃあまた連絡するね

「ご家族の目」とお話をしても、何を伝えたいのか見極めづらかったり、お母さんが「お母さん、お母さん、お母さん」とお話を聞かされて、お母さんがお話を聞かされて、お母さんがお話を聞かされて...

PDF版のバックナンバーは、柏市広報ホームページから「わがや」タブ、タイトル欄のQRコードからダウンロードできます。Web版はホームページからご覧いただけます。

《裏面》

在宅医療情報誌「わがや」第19号(令和4年3月1日発行)

できることから いつもの生活に「ちょっとしたプラスα」が大きな支えになるんです!

親の想いを聞く 医師などの話を一緒に聞く 空き時間に情報収集をする

時間を取って、家族に話を聞いてもらおう。退院後の生活に「ちょっとしたプラスα」が大きな支えになるんです!

医師の話を一緒に聞いてみて、具体的なアドバイスをもらおう。本人や家族の希望が叶えられるのを医師などの専門家に相談してみよう。

介護保険や親の住居地を照らし合わせる地域包括支援センターなど、必要な制度や仕組みについて情報収集してみよう。相談先で聞いた内容を親や本人の希望や思いなどを整理していきましょう。

ひとりで抱え込まないで... 頼れる相談先は、こんなにあるよ!

「家族だから」と頼りすぎて、早くなくなってしまっても、「自分たちだけでは解決できない」「ちょっと誰かに話を聞いて欲しい」となれば、相談窓口を上手に活用してください。必要に応じて相談先同士が連携し、あなたを支援をサポートします!

病院内の医療ソーシャルワーカー(医師・医療科職員)

退院後の生活イメージがつかないことや不安や解決に必要だと感じたら、病院内の医療ソーシャルワーカーに相談してください。病院内の医療ソーシャルワーカーは、退院後の生活イメージがつかないことや不安や解決に必要だと感じたら、病院内の医療ソーシャルワーカーに相談してください。

かかりつけ医

退院後の生活イメージがつかないことや不安や解決に必要だと感じたら、かかりつけ医に相談してください。かかりつけ医は、退院後の生活イメージがつかないことや不安や解決に必要だと感じたら、かかりつけ医に相談してください。

地域包括支援センター

退院後の生活イメージがつかないことや不安や解決に必要だと感じたら、地域包括支援センターに相談してください。地域包括支援センターは、退院後の生活イメージがつかないことや不安や解決に必要だと感じたら、地域包括支援センターに相談してください。

7わがや質問箱

「わがや」に掲載された、読者の質問と回答。読者の疑問や悩みを解決するために、専門家のアドバイスや経験談を掲載しています。

わがやクイズ!

「ちょっとした0000」が大きな支えになるんです!

読者の声から選んだ10名に「わがや」の「ちょっとした0000」が大きな支えになるんです!というテーマでクイズを出題しました。読者の声から選んだ10名に「わがや」の「ちょっとした0000」が大きな支えになるんです!というテーマでクイズを出題しました。

■令和4年度 出前講座申込状況 (令和4年6月7日時点)

対 象	申込み 件数	実施 回数 (多職種 講演回数)	参加 人数 *延数
老人会・サロン・ 町会など	4	1 (0)	20
民児協・地区社協・ ふる協	1	0 (0)	0
その他 (市民団体, NPO等)	0	0 (0)	0
合 計	5	1 (0)	20

《今年度の活動》

感染症まん延状況をみながら

■ オンラインを活用した開催

■ 多職種の皆様による御講義の再開

を考えています



《令和4年5月9日に実施した出前講座》

- 対象：サロンなかよし
(柏東口第2地域包括支援センターからのご紹介)
- 方法：講義形式 (60分)
- 内容：
 - 在宅医療動画の視聴
 - 在宅医療パンフレットを用いた説明
 - 質疑応答
 - 他配布物 (在宅医療ブックレット, わがや18号・19号, 柏地域医療連携センターリーフレット, うちわ)



<令和3年度の取り組みの実現>

令和3年度は、関心層に加え、無関心層に向けた新たな啓発活動を部会にて議論した結果、無関心層の中でも「働き盛り・子育て世代」をターゲット層としました。

ターゲット層が関心をもちそうな3つのジャンル（スポーツ・グルメ・有名人）を切り口に、チーム毎に企画案を検討しました。

令和4年度は、その企画実現に向けて取組んでいきます。

企画案

現在の状況

スポーツ
チーム

ENEOSサンフラワーズの選手へのインタビュー記事の掲載（わがや20号）

- ・ 新人3選手と市立柏高校生と一緒に学ぶ出前講座
5/30（月）に実施（詳細はスライド4参照）
- ・ 渡嘉敷来夢選手へのインタビュー：6/20（月）予定
→上記2企画は、わがや20号紙面と市ホームページで、写真や動画を使って紹介予定

グルメ
チーム

「“わがや”のスープ」
レシピコンテストの実施

- ・ 11/13（日）で道の駅しょうなんの加工体験室を仮押さえ
- ・ 第2回啓発広報部会で企画内容を協議予定

有名人
チーム

動画の作成

- ・ 在宅医療や関連する事項に関心を呼び起こすもの
- ・ スポーツ・グルメ企画と連動したもの

- ・ 有名人を活用した動画制作について、費用や編集技術等の課題を踏まえ実現可能な方策を検討中
- ・ スポーツ企画との連動として、渡嘉敷選手のインタビューや出前講座の様子を動画撮影し、市ホームページ等で紹介予定

報告3-2 サンフラワーズ3選手と市立柏高校生と一緒に学ぶ出前講座

スポーツチームの企画である

ENEOSサンフラワーズ選手と高校生を対象にした出前講座をおこないました！

日時：令和4年5月30日（月）15時50分～17時

場所：柏市立柏高等学校 多目的ホール

参加者：合計62名

内訳）医療介護に関心がある生徒および女子バスケット部員等の高校生38名

ENEOSサンフラワーズ新人選手3名（花島選手，佐藤選手，真壁選手）

啓発・広報部会員6名（櫻庭CM，小泉CM，土橋管理栄養士，金井PT，鈴木NS，葛西さん）

報道関係（2社：JCOM，柏市民新聞），他13名

内容：①大切な人が最期までその人らしく暮らすためにあなたができること

- ・柏市からの説明（高齢化・介護保険とチーム医療）
- ・もしバナゲーム（価値観の違いを学ぶ）

②専門職とENEOSサンフラワーズ選手によるパネルディスカッション（キャリア教育）



ご参加いただいた
部会員の皆様の言葉が、
高校生の心に届きました！

◆感想コメント（事後アンケートの一部抜粋）

- ・自分の最期と大切な人の最期で思うことのギャップがすごくて改めて気持ちの違いを知り考えることができた。
- ・地域全体で1人の人をサポートしていることを知り、柏はすごい地域だと思いました。
- ・パネルディスカッションを通して、やりがいなどを聞いて、より看護師に対して魅力を持ちました。
- ・周りの人への思いやり，コミュニケーション能力，気配りを大切にしていきたいと思った。

議事1-1 関心層への啓発活動 「市民の知りたいこと」をベースにした情報発信に向けた準備

	令和4年度	令和5年度
無関心層	取り組みの具現化	継続できる形での取り組み検討
関心層	来年度に向けた準備	「市民の知りたいこと」をベースにした整理と情報発信 →在宅医療情報連携パス（仮称）

第1回部会では、

部会員の皆様が日頃の業務の中でサービスを利用している方の声として

「こんな情報があのに欲しかった」
「こんな情報を蓄積・発信しているところがあるよ！」等

- 本人・家族が、どんな情報をどのタイミングで欲しいと思っているのか
- 本人・家族の知りたいことが、経験や情報として蓄積されているところはどこか
- 情報をうまく発信できているところはあるか

という視点をグループワークでご議論いただきました。

【イメージ図】在宅医療情報連携パス（仮称） * 令和5年度完成予定

項目	元気高齢	入退院時	日常の療養	急変時	看取り	グリーフケア
市民が知りたい情報	在宅医療の全体像を知りたい	〇〇が知りたい	〇〇が知りたい			
情報発信	かしわ家在宅ものがたり	わがや〇〇号				

対象 : 市民
 記載内容案 : 市民が知りたいことに対して、すでにある情報リソースを一覧にする等。
 ⇒サービスやとるべき行動へつなぐものではない

議事1-2 グループワークでいただいたご意見まとめ

1G

●課題と思われること

- ・訪問診療や訪問看護の利用：身体的な病気（がん等）や重度でないとは利用できないと
思っている方が多い（特に認知症）：わがや等で継続的に発信できたらいい
- ・柏独自のサービスや施設情報（特にサ高住、一覧だけではどんな施設なのかわからない）
- ・口腔ケアセンターの無料訪問（通院を嫌がる方にはよいサービスだが知らない人が多い）
- ・お金のこと（いくらかかるのか。高いんでしょ？と聞かれる）
- ・元気な人が当事者になった時をイメージできていないと感ずることがある
- ・介護保険までいかない場合のサービス（例：車椅子を今日だけ借りたい。腰が痛いから今日だけ手伝ってほしい等）
：社協が持っていることが多い
- 横のつながり・同職種の情報を知らない（STがいる事業所をホームページで調べる等）
：資源としての専門職（体制・専門性・つよみ等）の把握を職能団体としても発信していきたい
- 集まった情報を整理して発信すればよいか（例：成年後見制度の相談を受けられる窓口が何か所もあり違いがわかりにくい）
- 市民は急におかれた現状に対し必要な情報にまで考えが及んでいる人は少ない。何に困っているのか、今後何が降りかかってくるのかを一緒に掘り下げてから、必要な情報を渡すことが必要ではないか



2G

- ・在宅医療資源マップはホームページを検索し探すのが難しい：紙媒体があると説明しやすい
- ・ホームページを検索する人は限られている：どこで蓄積データが発信されているかが知られていないのではないか
- 興味のない人・自覚のない人に向けては、日常的な療養の段階から情報に接することができるようにする必要がある：医療・介護業界や行政側が発信した情報を市民につなげてくれる人（民生委員・学生などが仲介役になりうる層か）を育てることが重要になるのではないか
- 延命の定義の範囲が広く、家族への説明が難しいと感ずる場面が増えている：当事者への情報・家族への情報、それぞれ届け方が違うので、発信方法が難しい
- 退院して自宅に帰ってくるときにも、家族へ当事者の意思を優先することの必要性を説明をする場面が多い



いただきましたご意見から、情報発信における新たな課題が見えてきたため、**市民が知りたい情報をどのように整理し、どのように届けるとよいか**を含め、在宅医療情報連携パス（仮称）作成に向けた検討、準備を進めていきます。

第2回部会（8月2日火曜日）

- わがや20号校正
- わがや21号のテーマ決め
- スープレシピコンテストの詳細検討

第3回部会（1月下旬）

- わがや21号校正
- 無関心層への各種啓発活動に関する取り組み結果報告
- 関心層への啓発活動に関する継続協議・検討

